

第2編 本県のがんの状況

第1章 がん罹患の状況

1 がん罹患数

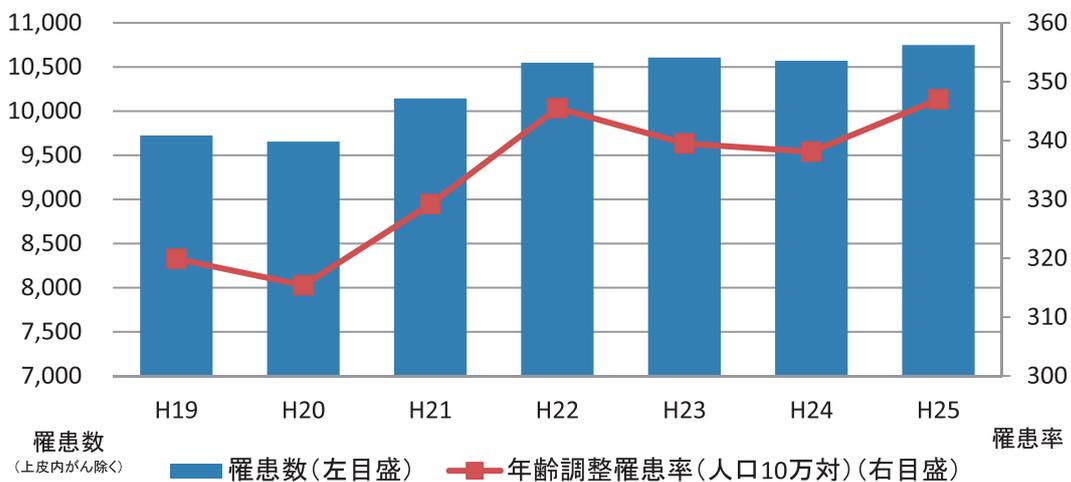
がん登録から本県の罹患数を見ると、平成25年(2013年)においては10,749件(男性;6,284件、女性:4,465件)であり、近年横ばい傾向にあります。性別部位別に見ると、男性は胃、女性は乳房が最も多くなっています。

※がん罹患とは…がんにかかること。

※がん罹患数とは…対象とする人口集団から、一定の期間に、新たにがんと診断された数(がんにかかった人の数ではない。)

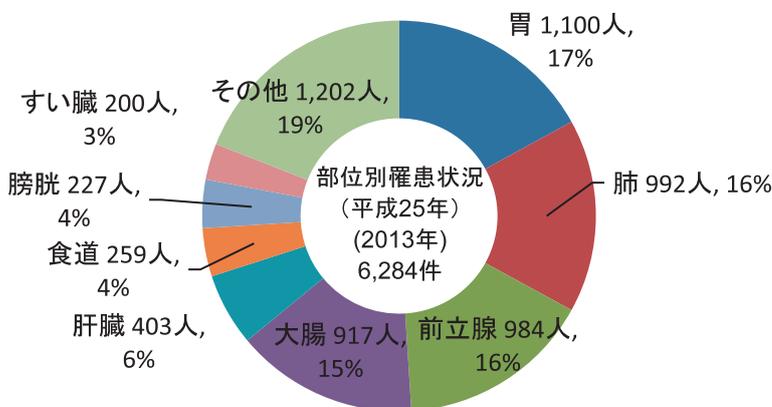
※年齢調整罹患率とは…年齢構成の異なる地域間や年次間で罹患状況の比較ができるように、年齢構成を調整した罹患率(罹患数を人口で除したもの)のことです。

<図-1>がん罹患数、年齢調整罹患率の状況

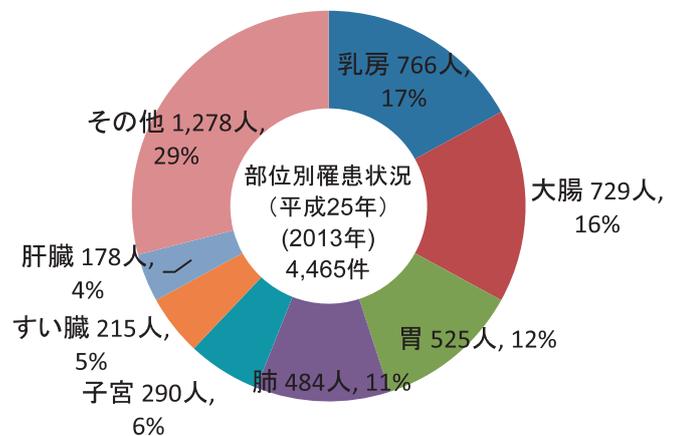


資料：山口県「山口県がん登録」

【男性】



【女性】



資料：山口県「山口県がん登録」

2 部位別年齢調整罹患率の推移

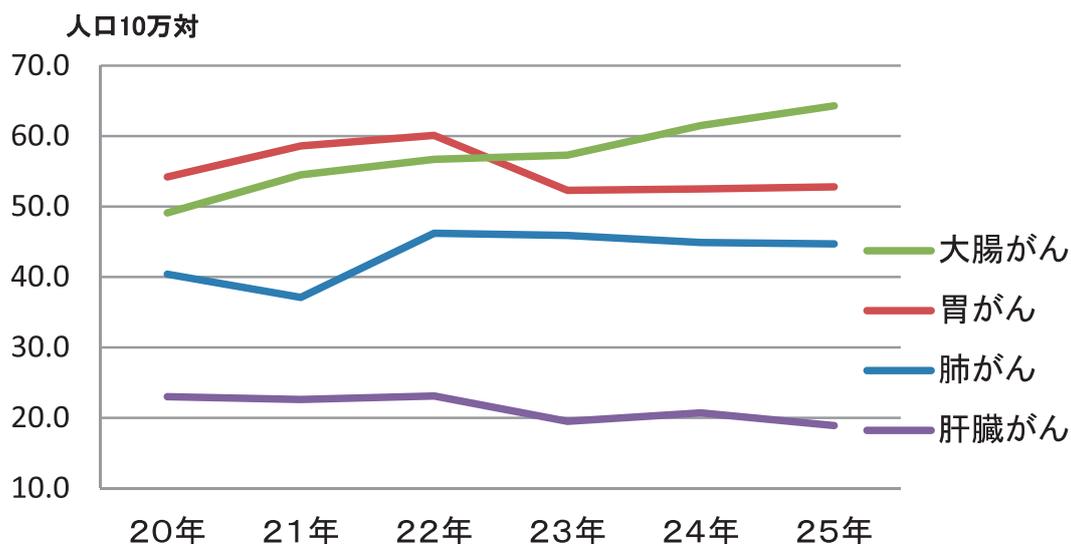
主な臓器のがん罹患率は、男性が女性に比べて高くなっています。

また、近年、男女とも大腸がんが増加傾向にあり、さらに女性については乳がんと子宮頸がんも増加傾向にあります。

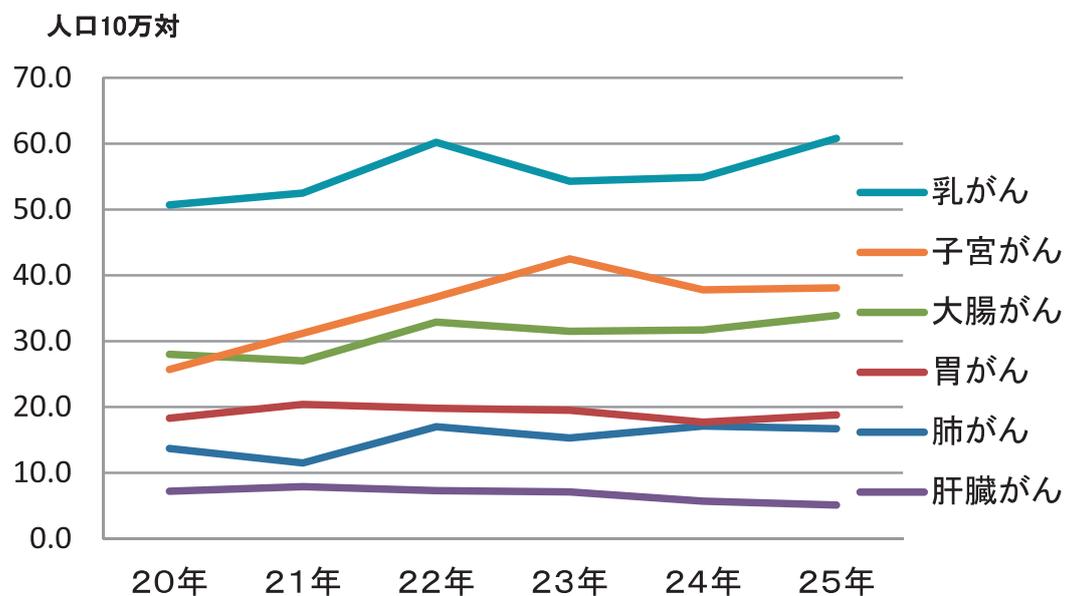
これは、全国と同様の傾向となっています。

<図－2> 部位別年齢調整罹患率の推移

【男性】



【女性】



資料：山口県「山口県がん登録」

3 年齢階級・主要部位別粗罹患率

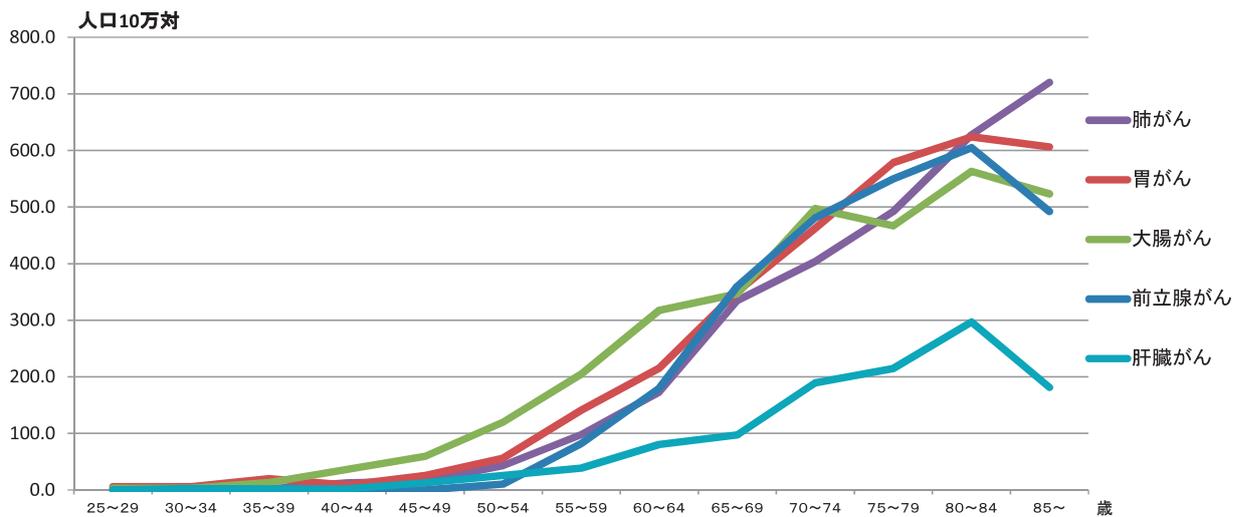
男性は20歳代後半から罹患率が徐々に高まり、特に50歳代以降は罹患率が上昇しています。

女性も同様の傾向があるものの、子宮頸がんは20歳代後半から40歳代の若年層の罹患率が高く、乳がんは40歳代から70歳代の罹患率が高くなっています。

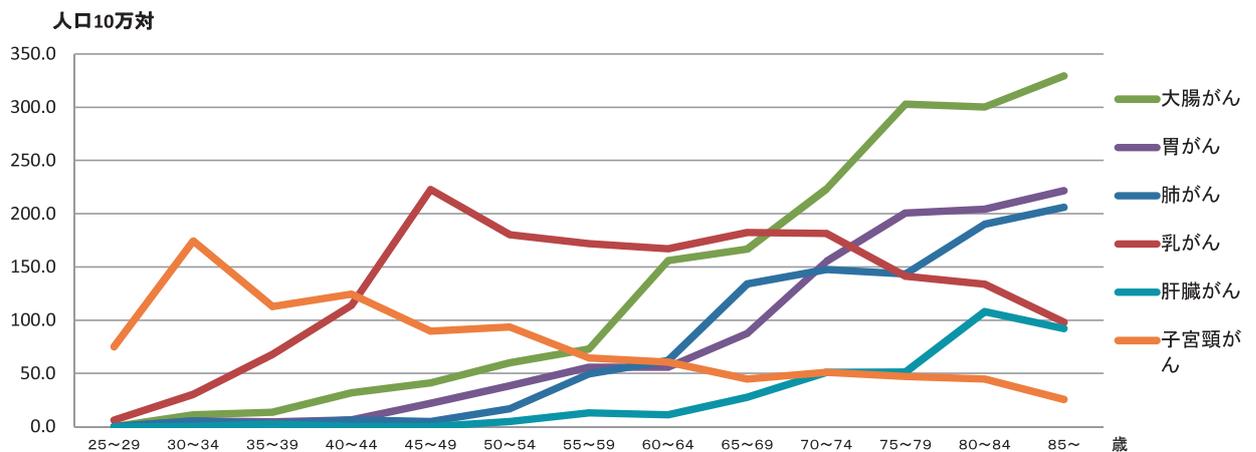
これは、全国と同様の傾向となっています。

<図-3> 年齢階級・主要部位別粗罹患率（平成25年(2013年)）

【男性】



【女性】



資料：山口県「山口県がん登録」

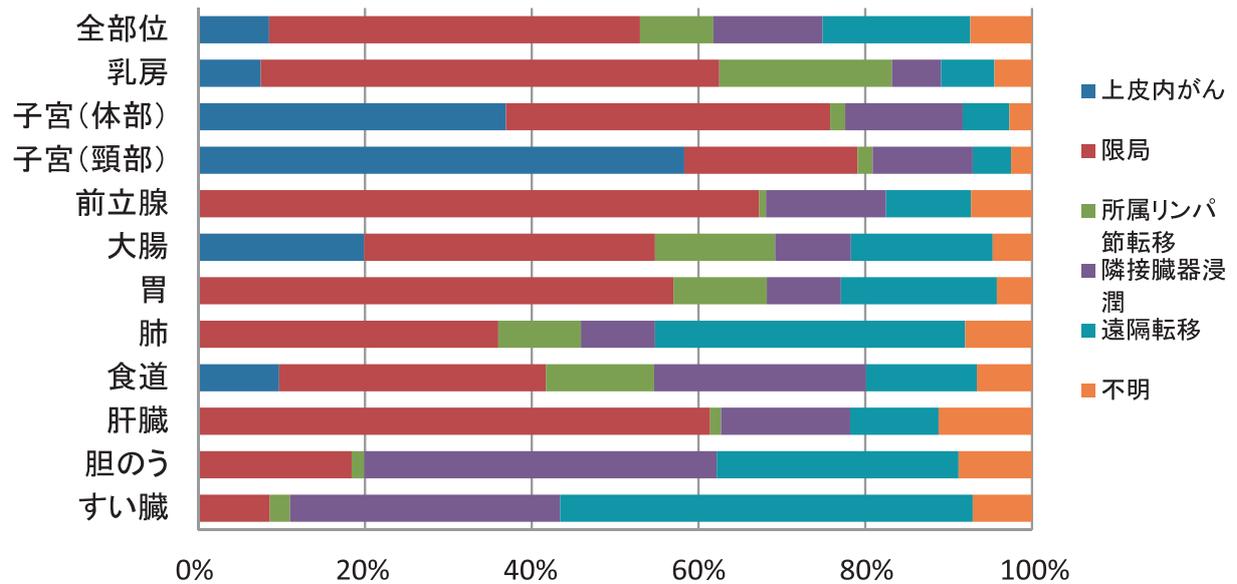
4 部位別発見時の病期（ステージ）

がんの進行度である病期について、全部位では約半数ががんの発生した臓器内にとどまっている「上皮内がん」と「限局」の状態で見られています。

一方、「隣接臓器への浸潤」や「遠隔転移」など、進行した状態での発見が約3割を占め、全国とほぼ同様となっています。

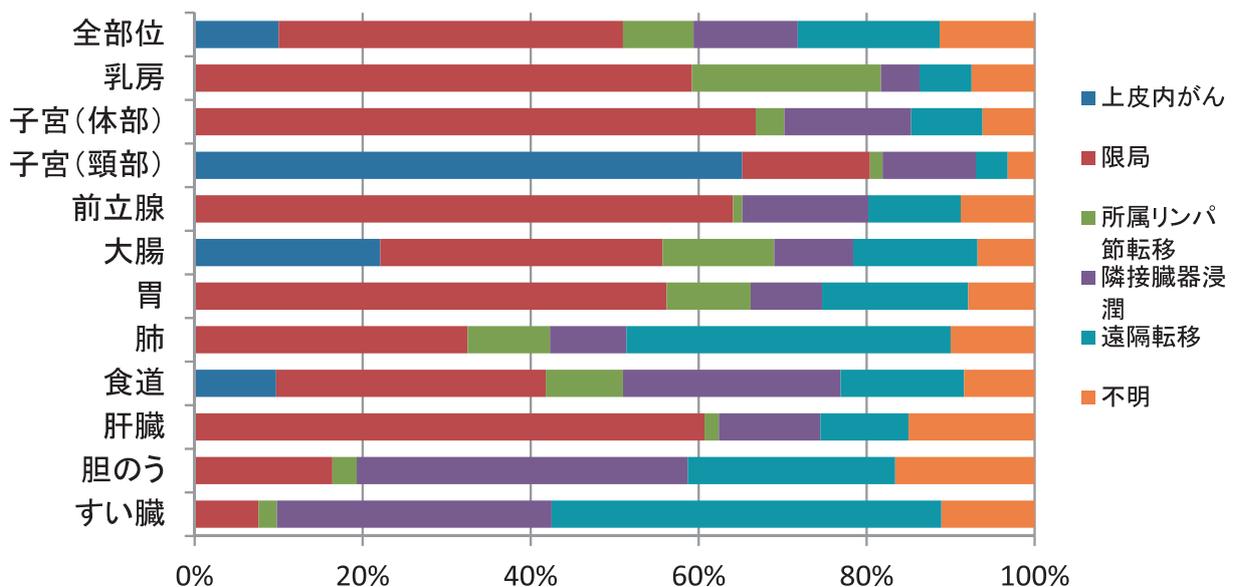
<図-4> 部位別発見時の病期（平成25年(2013年)）

【山口県】



資料：山口県「山口県がん登録」

【全国】



出典：国立がん研究センター がん対策情報センター

「全国がん罹患モニタリング集計 2013年罹患数・率報告」

5 5年生存率

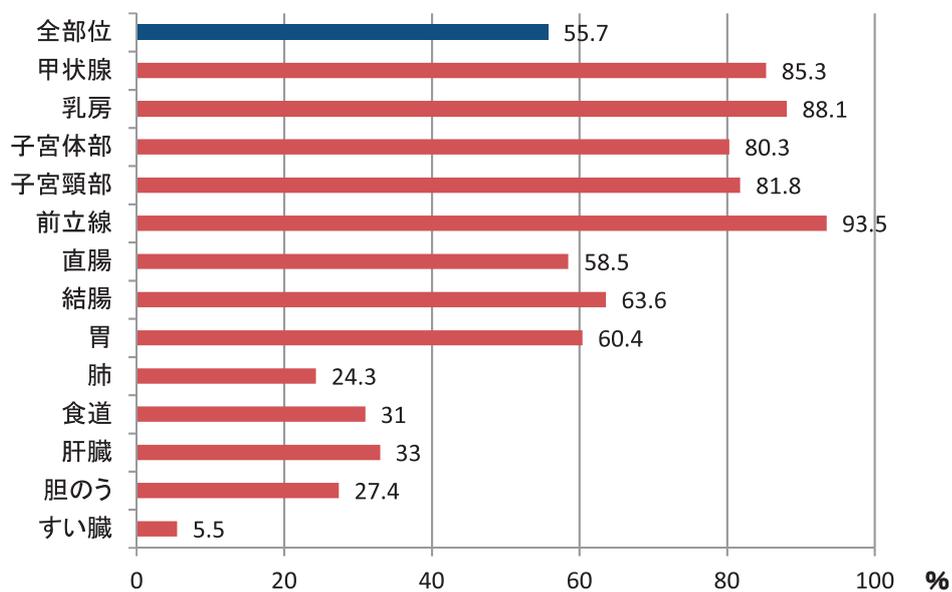
山口県地域がん登録により算出した本県の5年生存率は、全部位では55.7%で、部位別では前立腺が93.5%と最も高く、次いで乳房、甲状腺、子宮（頸部、体部）の順になっています。

※ 5年生存率とは、がんと診断された人のうち、5年後に生存している人の割合です。100%に近いほど治療で生命を救えるがんであることの目安になります。他の病気等の影響を考慮した生存率（相対生存率）を示しています。

※ 年齢構成等が異なる地域間の値を単純比較することはできません。高齢化率の高い地域の方が、低い数値が出る可能性があります。

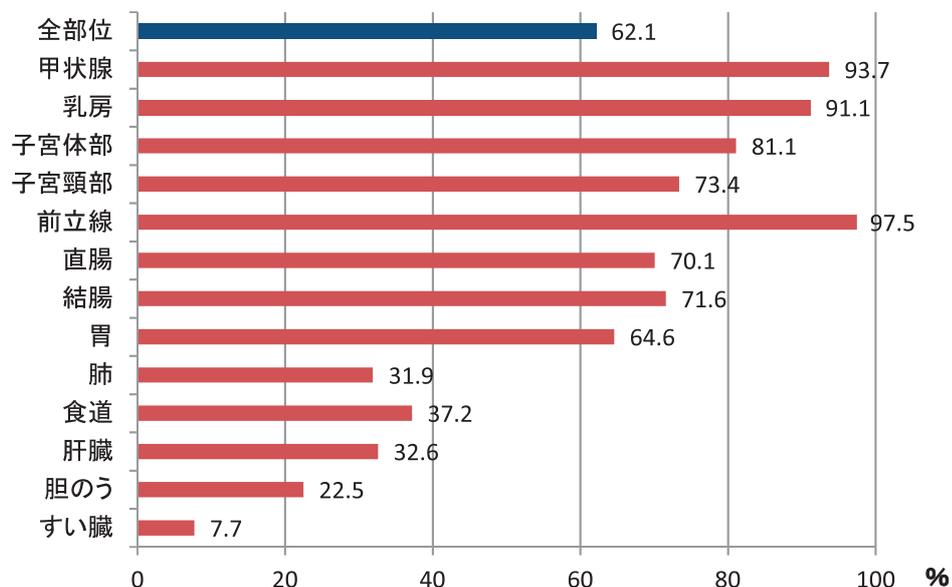
<図-5> 5年生存率

【山口県】



山口県「山口県がん登録 平成20年罹患集計」による

参考（全国）



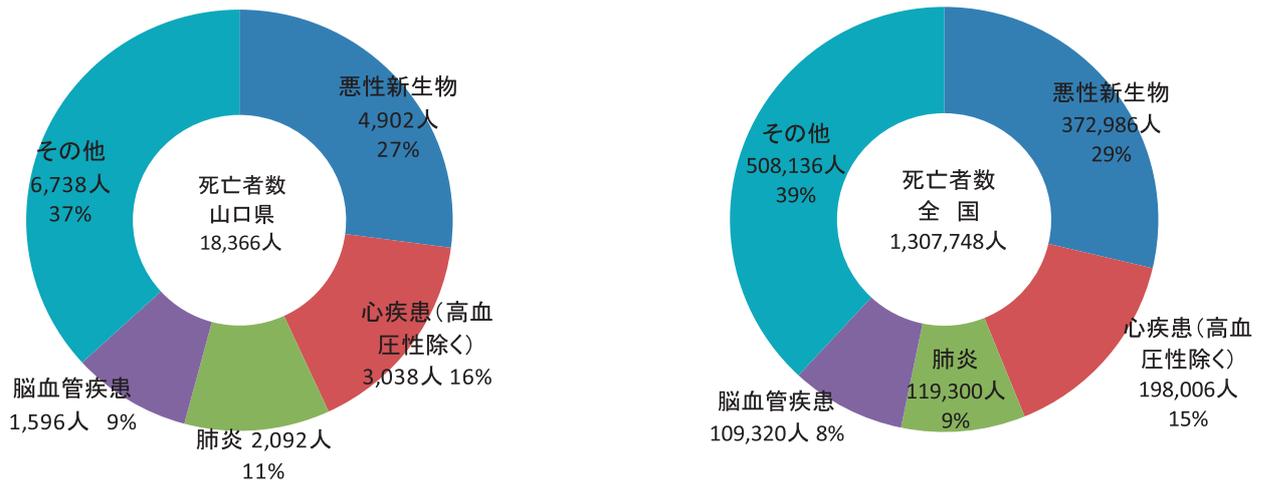
厚生労働省「2006年-2008年全国がん患者モニタリング集計」による

第2章 がんによる死亡の状況

1 主要死因別死亡者数

平成28年(2016年)における本県のがんによる死亡者数は4,902人(男性:2,904人、女性:1,998人)となっており、その割合は、全死亡者の27%を占め、およそ4人に1人の方ががんで亡くなっています。

<図-6>平成28年(2016年)主要死因別死亡者数

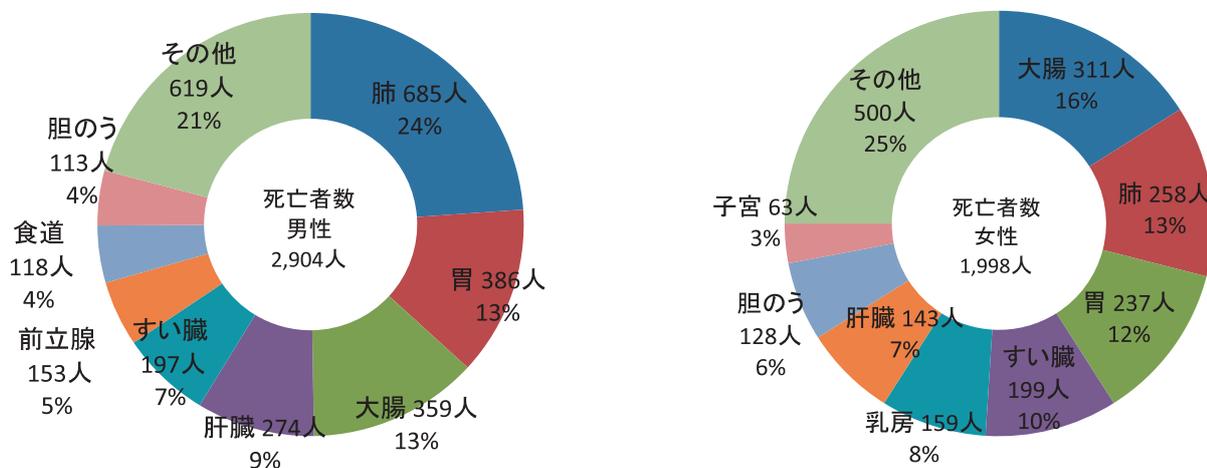


出典：厚生労働省「人口動態統計」

2 部位別死亡割合

平成28年(2016年)における本県のがん死亡者における部位別死亡者を男女別にみると、第1位は男性が肺がん(685人)、女性が大腸がん(311人)となっています。

<図-7>平成28年(2016年)部位別死亡割合

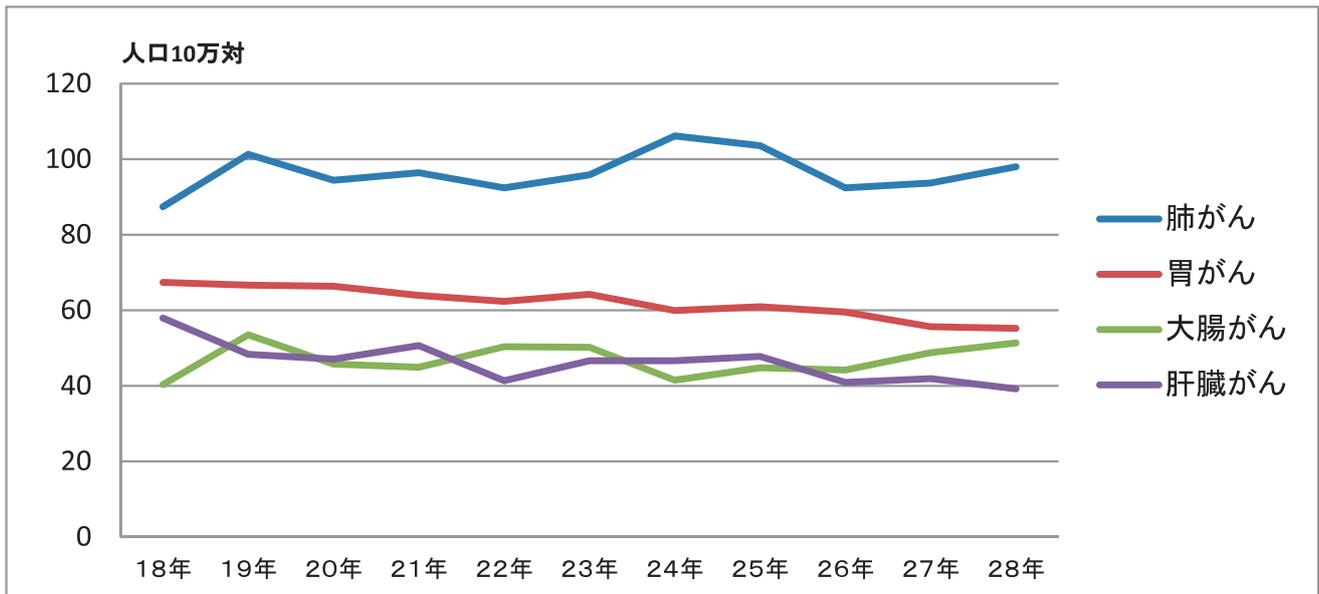


出典：厚生労働省「人口動態統計」

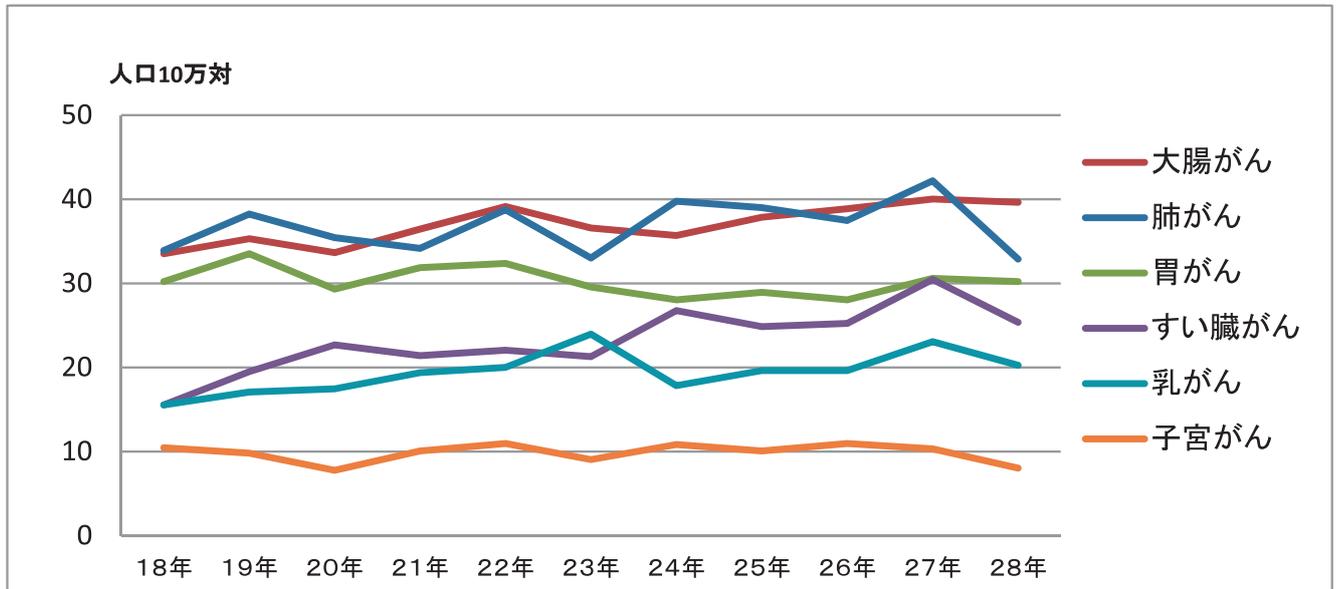
3 部位別がん粗死亡率の推移

本県のがん死亡者を部位別にみると、男性では肺がん、胃がん、大腸がんの順で多く、女性では大腸がん、肺がん、胃がんとなっており、10年間の部位別死亡率の推移をみると、男性の肺がん、大腸がん、女性の大腸がん、すい臓がんが増加傾向にあります。
 ※粗死亡率とは…1年間の死亡者を人口で除したもの（年齢調整を行っていないもの）

<図-8> 部位別がん粗死亡率の推移
 【男性】



【女性】



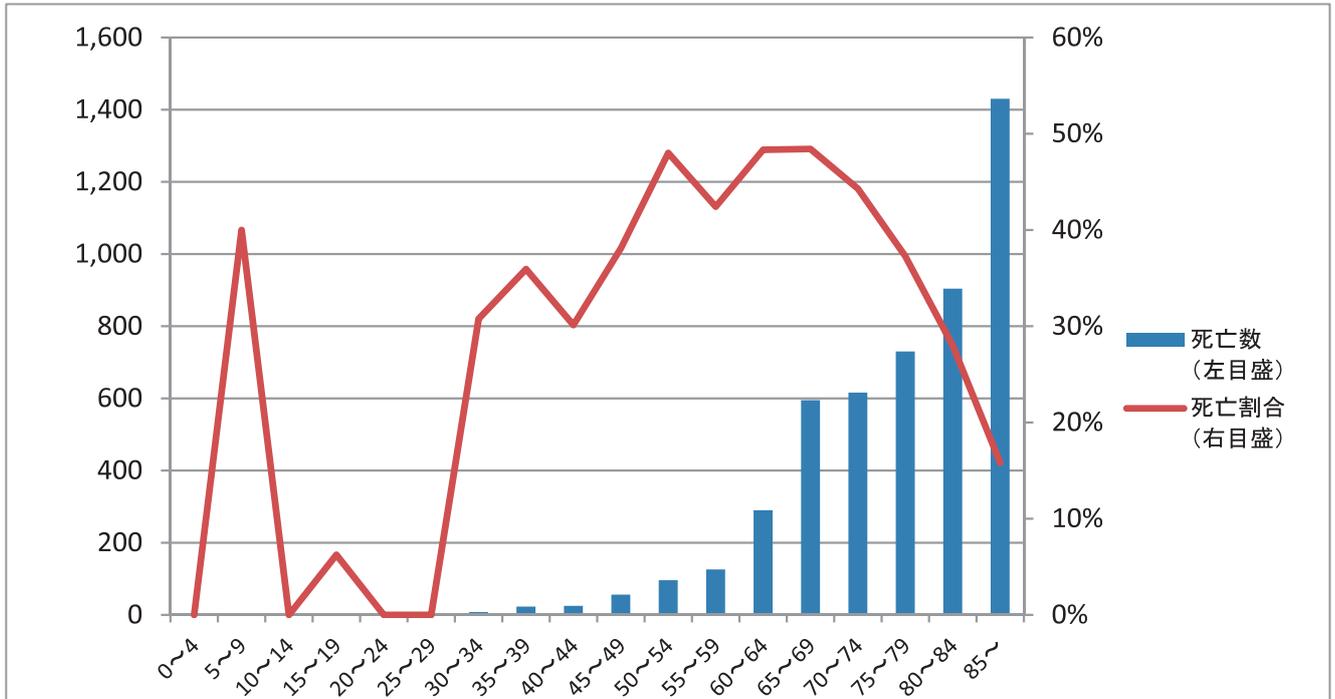
出典：厚生労働省「人口動態統計」

4 年齢階級別がん死亡者数の状況

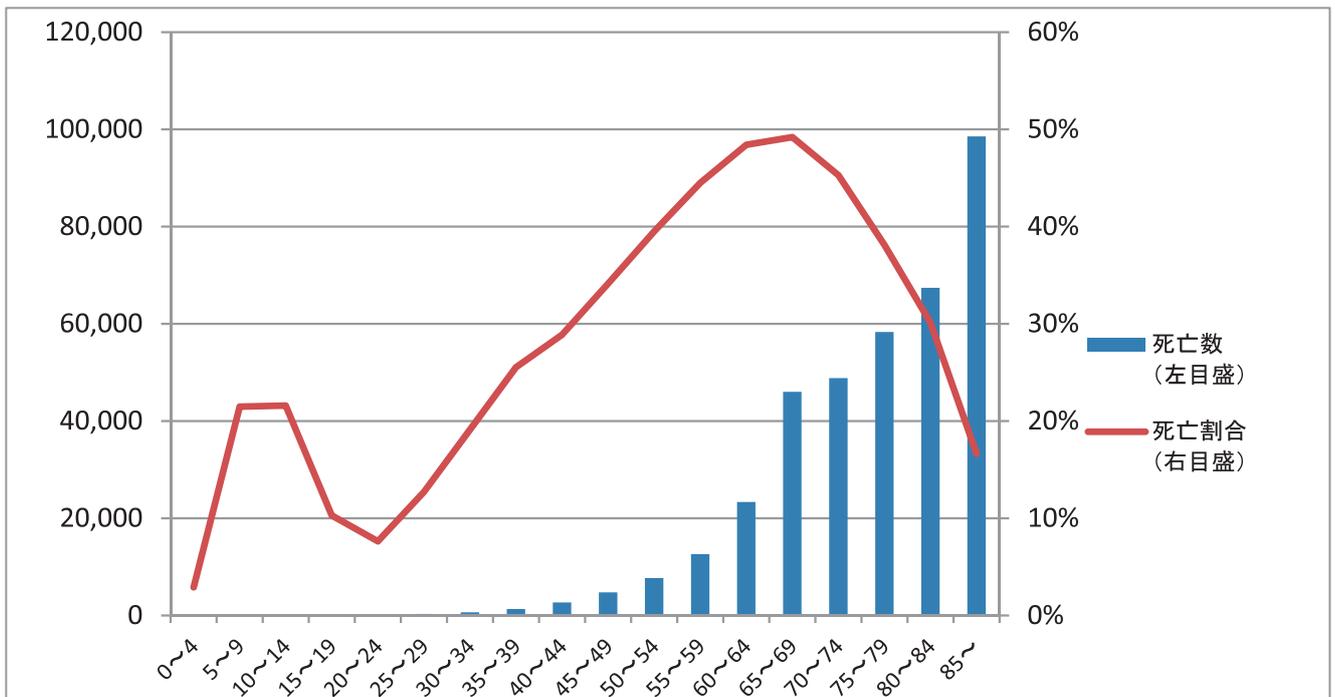
本県のがんによる死亡者は、全国と同様に30歳代から上昇します。また、全死因に対する死亡割合は、60歳代後半で最も高くなっています。

<図-9> 年齢階級別がん死亡者数及び全死因に対する死亡割合

【山口県（男女計）】



【全国（男女計）】



出典：厚生労働省「人口動態統計」

5 年齢調整死亡率（75歳未満）の推移

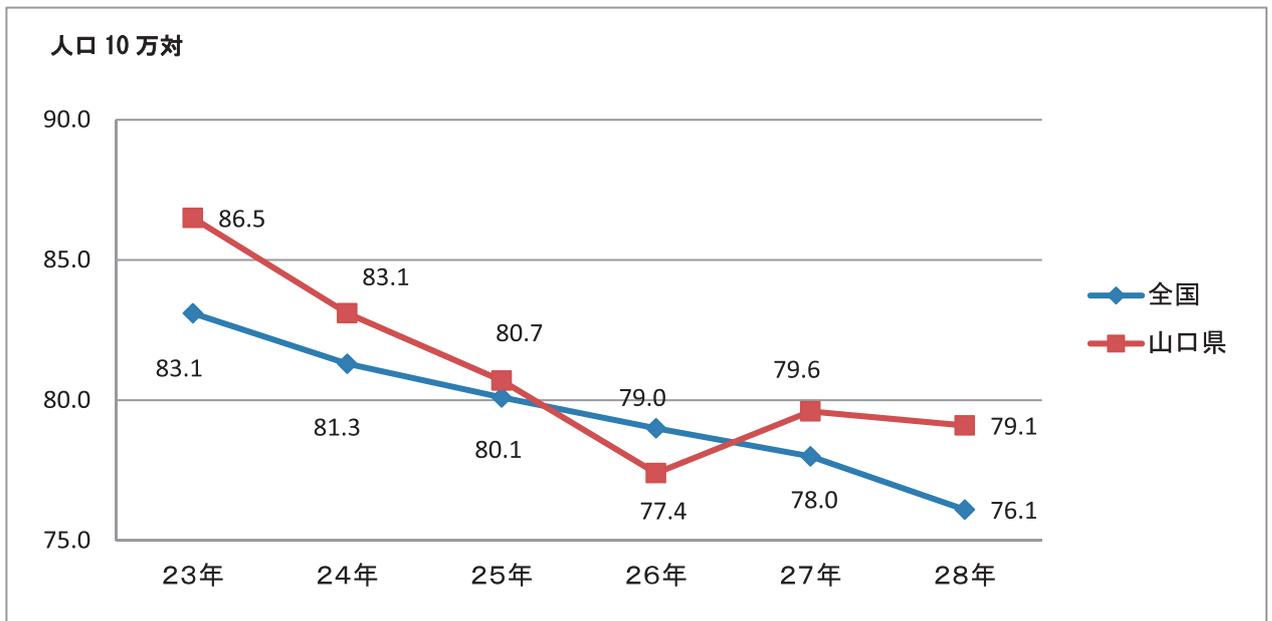
本県のがん年齢調整死亡率（75歳未満）は平成27年(2015年)に悪化したものの、平成23年(2011年)から平成28年(2016年)の6年間では改善傾向にあります。

※年齢調整死亡率とは…年齢構成の異なる地域間や年次間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率

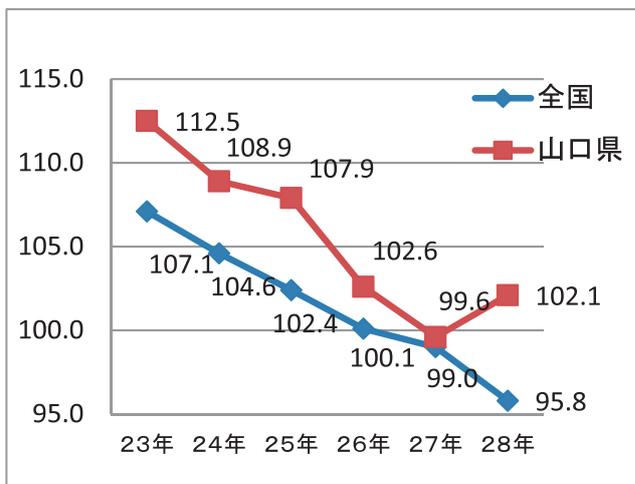
〔がんは高齢になるほど罹患や死亡が多くなることから、年齢構成が異なる集団での率を比較するためには、その影響を補正して算出した本指標を用います。〕

<図-10>年齢調整死亡率（75歳未満）の推移

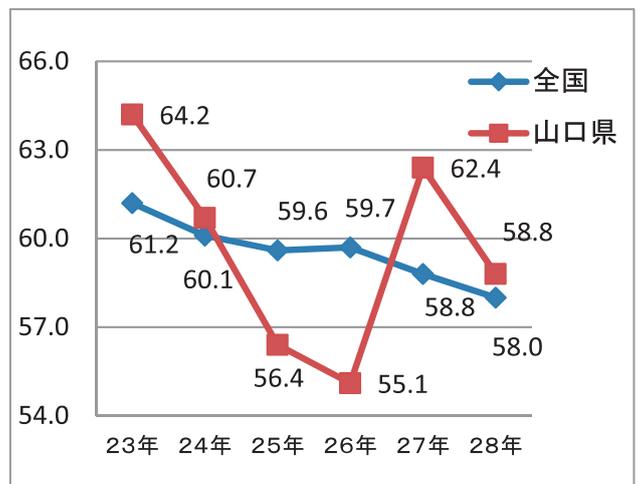
【男女計】



【男性】



【女性】



資料：国立がん研究センター がん情報サービス

第3章 がん患者数の状況

国の調査では、平成26年(2014年)現在、本県でがんにより継続的に医療を受けている患者は約3万人と推計されています。

また年齢階級別に見ると、そのうち生産年齢人口(15歳から65歳まで)にあたる人は約6千人となっており、患者全体に占める割合は約2割となっています。

〈表-2〉患者調査からみたがん患者数(単位:千人)

・総数

	山口県	(参考) 全国
H20(2008)	17	1,518
H23(2011)	21	1,526
H26(2014)	30	1,626

・年齢階級別数

	計	0～14歳	15～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳～
男	18	0	0	0	0	2	16
女	12	0	0	0	1	2	8
男女計	30	0	0	1	1	4	24

出典:厚生労働省「患者調査」